

NEWS PAPER

SUPER FORMULA 2021 — PMU/CERUMO-INGING Race Report



INGING MOTORSPORT Suspended by INMCA Co., Ltd.

@INTERVIEW

Sho TSUBOI #88

38号車 ドライバー 坪井 翔

Sena SAKAGUCHI #89

39号車 ドライバー 坂口 晴南

今後の自信に繋がる
表彰台獲得

Yuji TACHIKAWA

監督 立川 祐晴

@Race Archive Rd.3 AutoPolis

39号車 執念の表彰台へ

雨垂れ石を 穿つ!

あまだれいしをうがっ



Today's Race Rd.4

Sportsland Sugo

6.19SAT/20SUN

4

PMU/CERUMO INGING Race Report Season 2021, Take Free Paper

@Race Archive Rd.3 AutoPolis

雨垂れ石を 穿つ

あまだれい(ま)がっ

15分50分、ノックアウト方式から、1分30秒以内へと変更された公式予選を迎えた。セッションが始まる前から強風が吹き渡る。5分ごとに予選のスタートドライヤーが出るもドライバーはマンツールのシアーにおさまるまま。最初の予定から、最終的に15時35分まで延長されようかと予選が開始された。ウェットコンディションでの走行は、公式テスト横切れるもでき、み分けもなくなった。開始早々に

Thx!



レースアカイブ
 Round.3 オートポリス

2020年11月からちょうど半年ぶり
 のオートポリス開催。数日目の金
 曜日は、ピットの設備などルーティン作業に追加し、前回の課題の1つのピット
 作業の確認なども行われた。遅れた本選手日曜日、九州地区は例年より
 20日ほど早く雨入りの発表があり、それにあわせ
 たかのように朝から雨に見舞われ、今
 度も雨入りする前から悪天候の予報が出ていた。
 予選のセッションが行われぬことも予想された。その
 為、フル一走行順位も予選順位として用いられること
 も考えられ、フル一走行が雨延期を持ってしまった。

15分55分走行再開。18台がコースアウトし、残り27台、4号車がスピルシュ、コース上へ停止した為2回目の赤旗が出た。前回は走行中、雨降る前には雲が薄く晴るも視界が明るくなった。路面もほとんど乾かなくなっては、車も薄くなる再スタート。坪井は、若干セッティングミスをし、思いのほかタイヤを伸ばすことができなかったが、1分38秒787で4番手。残り21分、5号車がコースアウトしクラッシュした為3回目の赤旗。坪井4番手、阪口5番手の状況で16時26分走行再開するも雨脚が一気に強くなる。走行再開後、阪口はアウトラップからの悪影響、セクター2で全体ベスト、1分38秒511をマークし2番手へ。その後36号車がそのタイムを上回った為、阪口は3番手、坪井は5番手となった。その後64号車がスピルシュクラッシュの為4回目の赤旗。残り15分32秒でセッションは再開したが、雨量が増し、阪口1周してピットへ。坪井もピットへ戻り予選を終えた。

決戦日、サーキット周辺は、朝から雨と曇りの不安定な天候。晴れることがなく雨降と曇りによる視界不良に陥るも、スケジュールが定まらない日。サポートレースのリタリエルが降り遅れ、スーパーフォーミュラのフル一走行も天候原因の自決が立ちはやせるとなった。その後、チーム代表が招集され、オガナリヤと話し合いが持たれ、正午時点でレースを実施することは決定した。グリッドオークの悪影響の雨止め止み、お客様もホームスレートに入場までスタートラップが待たれ、当時の予定より大遅りに14時55分に決戦(42周)のフォーメーションラップがスタートした。

5番グリッドからの坪井は、スタートで若干出遅れ、それを取り戻そうとした矢先、1コーナーで20号車へ接触してしまふ。リスタートを試みるもクルマは動かさず、残念ながらオープニングラップでリタイアとなった。一方、3番手スタートの阪口は、スタートは良かったもののオープンスピードで止まり切れず1コーナーで飛び出しクラッシュした為5番手。坪井のアシンドでセーフティカーが導入された。5周目、レースが再開。セーフティカー解除直前に19号車がコースオフし、阪口は4番手へ、8周目15号車を容易く11、11周目に雨量が増してきて、セーフティカー導入された。

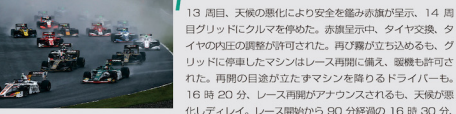


決戦日、サーキット周辺は、朝から雨と曇りの不安定な天候。晴れることがなく雨降と曇りによる視界不良に陥るも、スケジュールが定まらない日。サポートレースのリタリエルが降り遅れ、スーパーフォーミュラのフル一走行も天候原因の自決が立ちはやせるとなった。その後、チーム代表が招集され、オガナリヤと話し合いが持たれ、正午時点でレースを実施することは決定した。グリッドオークの悪影響の雨止め止み、お客様もホームスレートに入場までスタートラップが待たれ、当時の予定より大遅りに14時55分に決戦(42周)のフォーメーションラップがスタートした。

5番グリッドからの坪井は、スタートで若干出遅れ、それを取り戻そうとした矢先、1コーナーで20号車へ接触してしまふ。リスタートを試みるもクルマは動かさず、残念ながらオープニングラップでリタイアとなった。一方、3番手スタートの阪口は、スタートは良かったもののオープンスピードで止まり切れず1コーナーで飛び出しクラッシュした為5番手。坪井のアシンドでセーフティカーが導入された。5周目、レースが再開。セーフティカー解除直前に19号車がコースオフし、阪口は4番手へ、8周目15号車を容易く11、11周目に雨量が増してきて、セーフティカー導入された。

大会組織委員会と審判委員会がレース終了を宣言し、阪口の3位表彰台が確定した。18時20分に、2位となった松下高道選手にペナルティが与えられ、阪口2位と発表された。最終3戦目今後の日程に繋がる表彰台獲得。悪天候の中、最初のミスのリカバリーと非常に冷静にレースをして得た結果としても素晴らしい。坪井にとっては悔しいレースとなった。決勝に順位があっただけに残念な結果。しかし、昨年2勝も挙げた力は、今季必ず花開くと信じて暮らす次に繋ぐたい。

悪天候の中、赤旗に



13周目、天候の悪化により安全を確保赤旗が提示。14周目グリッドヒールを伴った。赤旗指示中、タイヤ交換、タイヤの取付の遅延が許可された。再び雨が立派になるも、グリッドに停車したマシンはレース再開を望むドライバーも。16時20分、レース再開がアナウンスされるも、天候悪化のタイレイン。レース開始から90分経過の16時30分、大会組織委員会と審判委員会がレース終了を宣言し、阪口の3位表彰台が確定した。18時20分に、2位となった松下高道選手にペナルティが与えられ、阪口2位と発表された。最終3戦目今後の日程に繋がる表彰台獲得。悪天候の中、最初のミスのリカバリーと非常に冷静にレースをして得た結果としても素晴らしい。坪井にとっては悔しいレースとなった。決勝に順位があっただけに残念な結果。しかし、昨年2勝も挙げた力は、今季必ず花開くと信じて暮らす次に繋ぐたい。

@INTERVIEW

坪井 翔 38号車ドライバー

チームにも申し訳ない 悔しいレース。Sho Tsuboi #38 次戦、必ず勝ちにゆく

日の決勝は、スタートの1コーナーで20号車に接触してしまひ、そこでレースが終わってしまひました。ぶつけてしまった平川選手、チームインボイのみならずは、大変申し訳ない気持ちでいっぱいです。申し訳ありませんでした。



立川 祐路 チーム監督

赤旗で終わったが いいレースをした Yuji Tachikawa

坪井は、スタートの1コーナーで接触してしまひレースを終えました。ぶつけてしまった坪井選手には申し訳なかったと思います。上位を知る位置からのスタートだけに残念です。阪口の方は、スタートをうまく決め1コーナーで2位に上がったように見えたのですが、コースオフし5番手。そのあと自分を挽回して3位まで戻ったところで、赤旗降りました。良いレースをしましたし、今週は予選から上位に良い展開だったので、そこで初めて表彰を獲得したのには良かったです。次は、優勝を目指してがんばりたいと思います。

Results 38 坪井 予選 5位 決勝 リタイア 立川 予選 3位 決勝 2位



阪口 晴南 39号車ドライバー

スタートの蹴り出しは 良かった Sena Sakaguchi #39

表彰獲得で良かったです。スタートは、クラッシュミートがうまくいって、蹴り出しはうまく行きました。しかし、1コーナーでオーバーランがコースオフしました。そこは自分のミスです。そのあと1台リカバリーして4位でCSにこぼれました。最後はタイヤも変えてもつと勝負したかったです。霧で視界不良での中止は正しい判断だと思います。ウェットは鈴鹿のテストからフィードバックも、ドライは、鈴鹿のレースをもとに考える必要があります。次は優勝できるよう頑張りたいです。



Heha!

To be Continued...

goody goody!